

令和8年度 専攻科 後期 学力選抜試験

受験番号		氏名	出題意図
------	--	----	-------------

総得点

本試験【機械工作法】は、機械工学分野において必要とされる機械工作法の基礎的理解を評価することを目的とする。特に、鋳造、溶接、塑性加工、切削加工、砥粒加工の加工法や、それらに関連する知識の習得を問う。

機械工作法（1の1）

（問1）キュボラとはどのような溶解炉か説明せよ。（配点15点）

問1（得点）

問1では、鋳造時に使用される溶解炉に関する知識の習得について確認する。

（問2）溶接した金属に生じる熱影響部とは何か説明せよ。（配点15点）

問2（得点）

問2では、溶接した後の溶接部の性質に関する知識の習得について確認する。

（問3）前方押出しと後方押出しの違いを説明せよ。（配点15点）

問3（得点）

問3では、押出し加工の加工原理に関する知識の習得について確認する。

（問4）クレータ摩耗について、発生する場所とその摩耗の形態を説明せよ。（配点15点）

問4（得点）

問4では、切削加工に使用する切削工具の摩耗に関する知識の習得について確認する。

（問5）砥石の自生作用とは何か説明せよ。（配点15点）

問5（得点）

問5では、研削加工で用いられる砥石の基礎知識および砥石による研削加工の加工原理に関する知識の習得について確認する。